



▲「参画と協働」を推進し住民主体の自治を拡大

町民提案型事業の創設を

答弁 = 播磨ゆめづくり塾の活用で

指定管理者制度の導入や夏祭り・大中遺跡まつり・健康福祉フェアでは、実行委員会に住民の参画をいただき協働して事業を行っている。地域の課題は「ミ

答弁Ⅱ高橋理事

多くの町事業は行政先行型で、場当たり的に住民の参加・協力を募り、住民の誠意にあぐらをかいているようなことがないか、住民との協働を前提とした準備が欠けているのではと懸念される。自立した真の自治を目指すために住民との「参画と協働」や「相互補充」の理念に基づき、事業がデザインされているか。

また、予算段階から住民の提案を募り、住民主体の地域経営を行うために住民本意の事業を予算化する。町民税の相当割合を配分することを提案するが。



緑生会

福原 隆泰

大変いい話ですが、周辺自治会・漁業組合との調整、喜瀬川・阿閉漁港での安全対策など、様々な条件をクリアする必要があるが、有

答弁Ⅱ高橋理事

有効な提案があれば

遊休地の積極的活用を

放置が目立つ本荘2丁目1647番の4の埋立免許地約6千7百㎡は住民コンペを開催し、利活用に優れた提案に対して、運営管理を住民団体へ開放することはできないか。

ユニティ委員会への支援を通じて住民主体でまちづくりを進めている。今後の状況を見て参画と協働による事業の拡大を検討していく。提案の事業に代わるものとして「播磨ゆめづくり塾事業」を実施しているが見直しの時期とも考えている。

農業振興施策の充実を

効な提案があれば検討していきたい。

小規模な兼業農家が多く、年々減少する農地を維持するために、黒大豆種子の配布、米消費拡大を図る料理教室開催、転作助成金制度、学校給食への地元米の供給、小学校での農作業体験を実施。自家消費がほとんどである本町の生産力から商業ベースに乗せるのは難しく、認証制度などのブランド化は考えていない。



▲「もったいない」職員専用駐車場

職員駐車場は町の発展阻害

答弁 = 活用は所有者の意思

平成19年度において「職員等福利厚生事業」の名目で、山陽電鉄線陸橋南側、県道本荘平岡線陸橋東側の土地を年間300万円余りで職員駐車場として民間から借り上げ、職員に無償貸与している事実は、住民感情として理解できるものではありません。

この土地は、住宅や商業地としての発展性豊かな土地であり、これらの土地に住宅や商業ビルなどが民間誘導で建設された場合、町民税の増収、雇用の確保にも貢献し、更なる発展を遂げることになれば、その経済効果は、はかり知れない。

交通指導員配置基準は

この土地は、私有地ですので、商業ビルの進出などの具体的な計画があれば、当然所有者から契約時に何らかの話があるものと思います。

答弁Ⅱ松田教育長

事前に学校と協議

駅東自治会では、子どもをどう守るかを議論し、4年前に、自治会、老人会、子ども会の三世代による防犯グループを結成し、登下校時の引率、交差点での交通整理や、町道古宮川端線

播磨南小学校区には、本年5月から新たに交通指導員を1名、二子踏切南側に配置しています。配置に当たっては、事前に交通量調査などを実施し、学校とも協議を行っている。



緑生会

河南 博

(通称田中道)と山陽電鉄との踏切で立哨を行い、子どもたちの安全の確保に努めている。

この田中道との踏切に交通指導員の配置を、予算、決算、あるいは行政懇談会において要望してきたが、一向に改善されないまま近日に至っている。

本年5月から山陽電鉄の二子踏切に、交通指導員1名が配置されたが、交通量調査などを実施されたのかその理由と配置基準について伺いたい。